



【発行所】  
 独立行政法人国立病院機構 岩手病院  
 岩手県一関市山目字泥田山下48  
 Tel : 0191-25-2221  
 Fax : 0191-25-2157  
<https://iwate.hosp.go.jp/>  
 発行責任者 齋藤 桂一

## 新年のご挨拶



院長 豎山 真規

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

1月1日能登半島に地震が起こり、多数の方が亡くなられています。お悔やみを申し上げますとともに、被災された方々が一刻も早く平穏な生活に戻れることをお祈りいたします。1月2日には被災地への物資輸送の任務に当たっていた海上保安庁の職員が羽田空港で殉職されました。お悔やみを申し上げます。現在事故について調査がなされていますが、さまざまな要因が重なって起きたコミュニケーションエラーが推測されています。医療においても、コミュニケーションエラーが人命にかかわるのは共通しており、たとえ人的ミスがあったとしても安全が担保されるシステム作りの重要性をあらためて感じます。

新型コロナウイルスは、昨年5月に感染症法上で5類に引き上げられましたが、ウイルスとの闘いは続いています。当院では、5類以降にクラスターを経験し、本ウイルスの感染力の強さを痛感しています。安全であるべき病院内で感染が広がるのは患者さんに大変申し訳なく、外からのウイルスの持ち込みを防ぐ対策、職員あるいは患者さんに陽性者が出た場合の対応について、検証しながら改善を続けます。

当院は、神経難病医療、重症心身障がい児者医療の政

策医療と、リハビリテーションを中心とした地域医療の一層の充実を図り、患者さんとご家族に安心していただける安全で質の高い医療を提供する努力を続けてまいります。神経難病病棟では新たに療養介護事業を導入いたします。これまでの医療の提供に加えて、患者さん各々の入院生活を充実させるレクリエーションなどのサービスや患者さんの希望するやりたいことをサポートする仕組みで、神経難病医療を提供している病院では広く導入されてきました。専門の担当者と医師、看護師が協力して、より豊かで充実した入院生活を提供してまいります。

日々世界も社会も変化し、医療の現場も影響をうけます。軍事侵攻、戦争が起こり、気候温暖化は沸騰化と言葉がわかりました。日本では人口減少と高齢化が進み、一関市においても顕著で、求められる医療も変化しています。高齢の方の単身世帯や経済的社会的な困難を抱えた患者さんがいらっしゃる一方で、在宅療養の仕組みの充実とともに、レスパイト入院や一時預かりを希望される患者さんが増えています。変化に伴う様々な課題に、私たちの病院としてできる精一杯のことを職員皆の力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。患者さんに安心して満足していただける多職種協働の基礎は相互のコミュニケーションです。医療者と患者さん・ご家族はもちろんのこと、医療者間、介護施設の方々、他の医療機関、行政機関の方々と、よりよいコミュニケーションが図れる環境を大事にしていきたいと思ひます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 第77回国立病院総合医学学会に参加して

リハビリテーション科 作業療法士 菅原 望美

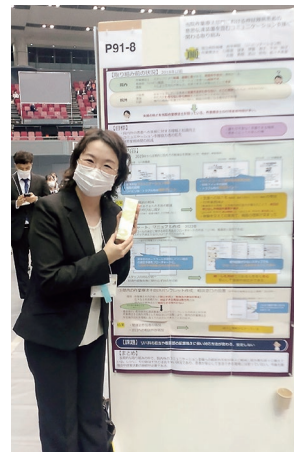
令和5年10月20日、21日に広島で開催された第77回国立病院総合医学学会にポスター発表で参加し、当院作業療法部門の過去5年間の意思伝達装置を含むコミュニケーション支援の取り組みについて発表してまいりました。

発表前後での他院との交流や情報交換の中で、当院だけではなく同じような悩みを抱えている施設が多く、しかしながら実際の取り組みには至らない状況も多いことを知りました。その中で、今回の長期間にわたる院内外での取り組みの結果は、大きな成果だったと感じております。また、たくさんの方に共感していただき、参考にしたいというお声をいただいたことは本当に嬉しく、今後の励みにもなりました。

結果としていただいた、ベストポスター賞は、リハビ

リテーション科をはじめ、看護部、地域連携室、臨床工務室を中心に、かかわって下さった皆様の協力があったの結果と感じております。

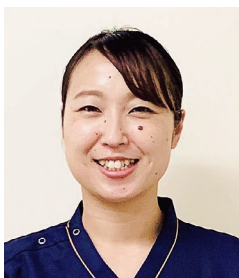
コミュニケーション支援に関する取り組みは、日々変化していく状況に合わせ継続的に行っていくことが必要と感じております。今回頂いた貴重な意見や結果を踏まえ、今後の継続的な取り組みや研究に反映させていきたいと思ひます。



(リハビリ：作業療法士) ポスター会場



## 第77回国立病院総合医学学会に参加して



**臨床工学技士 及川 秋沙**

2023年10月20日・21日に開催された第77回国立病院総合医学学会に参加しました。

10月とはいえ、東北人の私にとってはまだ暑さを感じる広島県での開催でした。

さて、皆様は臨床工学技士 (Clinical Engineers: CE) という仕事をご存知でしょうか。

臨床工学技士は医療機器のスペシャリストとして、様々な医療機器の管理・操作を行っています。現代医療では様々な医療機器の高度化・複雑化が進み、使用場面も手術室、集中治療室のような急性期医療から在宅など慢性期医療まで幅広く使用されるようになりました。そのような背景もあって、臨床工学技士の業務範囲は多岐にわたっており、今回私が座長を務めた臨床工学のポスターセッションでも、血液浄化療法や高気圧酸素療法、不整脈治療など様々な分野における研究発表がなされました。限られた時間の中での発表でしたが、参加者からたくさ

んの質問があがり、セッションが終了した後も発表者と意見交換する姿も見られました。全国の臨床工学技士が、より良い医療を提供しようと日々研鑽されている姿を目にして、私も非常に刺激になりました。

進化する医療機器を皆様に安全にご使用いただけるよう、今後も精進して参ります。



総合医学学会看板



原爆ドーム

## 第41回東北学院大学SWE～素敵な演奏をありがとう～

**療育指導室 保育士 金野 美佳**

年間行事として長年継続してくださっている東北学院大学シンフォニック・ウインド・アンサンブル (SWE) の演奏会も、今年で41回目を迎えました。11月8日に昨年同様リモート開催で、学生の皆さんによる演奏映像を各病棟プレイルームで鑑賞しました。

演奏会は全体演奏からスタートし、マーチング曲「アルセナール」や、実写映画化された「リトルマーメイドメドレー」、「ジャパニーズ・グラフィティ XIV 嵐メドレー」、フルート5重奏やクラリネット6重奏で「魔女の宅急便コレクション」を披露してくださいました。どの

曲も馴染みのあるメロディーで患者さんも身体を揺らしながら楽しんでおられました。学生さんが一生懸命に心を込めて演奏してくださっている様子が伝わり、それぞれの楽曲の世界観に引き込まれました。

演奏鑑賞後は学生の皆さんと交流の時間を設けました。質問コーナーや演奏の感想を直接お伝えして楽しい時間を過ごしました。

今回も素敵な演奏に患者さんの笑顔がたくさん見られ、音楽の素晴らしさに元気づけられた時間でした。東北学院大学SWEの皆さん、素敵な時間を本当にありがとうございました。





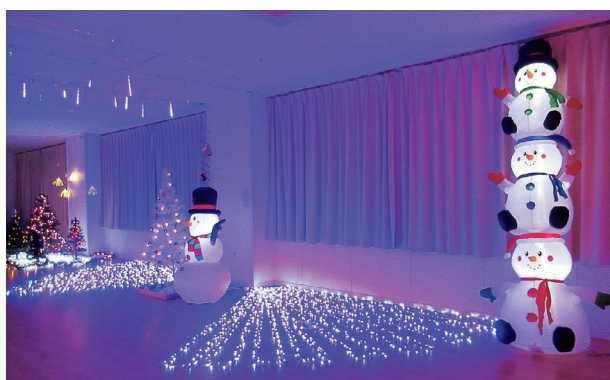
## 「光のファンタジー」の始まり

療育指導室 保育士 齋藤 久美

本格的な寒さが続く季節となりました。連日のようにテレビでも全国各地のイルミネーションが紹介されています。当院でも恒例となっている「光のファンタジー」が開催されています。12月4日から25日まではクリスマスバージョン、さらに1月11日から2月27日まではウインターバージョンをお届けします。あすなる病棟の入院患者さんだけでなく、リハビリの入院・通院患者さん、清明支援学校の生徒さん達にも見学していただき、楽しんで頂いております。

「光のファンタジー」は、今年で16回目を迎えます。ちょうど16年前に職員の手作りで始まった行事です。冬、そして夜に外出できない入院患者さんに「仙台の定禅寺

通り、勾当台公園のイルミネーションを見せたいな」という思いからスタートしました。当時は、針金でたくさんの型を作り、電飾を巻き付けて飾りつけをし、毎年少しずつ電飾やバルーン、飾りも増やしながら現在に至っています。一番古い16年前の電飾たちは、引退した物、まだ現役で活躍している物、リメイク（補修）されて再デビューする物など様々です。2メートルを超えるメインツリーは普段は脚立として活躍し、この時期にはツリーに変身する優れものです。このように、職員のアイデアが結集された幻想的な空間を今年も皆さんに楽しんでもらえるように飾りつけをしました。当院の昼間に楽しめるイルミネーションがワクワク感や癒しを一人ひとりにお届けできることを願っています。



## 職場紹介 -リハビリテーション科-

当院は両磐地域の西地区においてリハビリテーション専門病院の位置づけとなっております。

当科のスタッフ数はリハ専門医1名、理学療法士12名、作業療法士6名、言語聴覚士3名、総勢22名とスタッフ数の多い病院です。

対象疾患は回復時期にある脳血管疾患・整形疾患、神経難病、重度心身障害児(者)です。脳卒中と大腿骨頸部骨折に対しては、急性期の県立磐井病院と地域連携パスを使用しています。

これらの対象者に対して様々な医療機器を駆使しながら専門的に各部門で技術や知識を提供し、医師・看護師・医療ソーシャルワーカーと共に患者さん1人

1人にチームで協力し、スムーズに自宅復帰や維持期の施設などに橋渡しをする一役を担っています。

作業療法士長 伊藤 浩子





## クリスマスを楽しむ会

療育指導室 保育士 鈴木 美智子

令和5年12月18日、20日、21日の3日間に渡り、重症心身障がい児者病棟で「クリスマスを楽しむ会」が行われました。少人数グループに分かれ、「光のファンタジー(イルミネーション)」の会場へサンタクロースに会いに行きました。サンタクロースが出迎えてくれ会場に入ると、そこは病棟とは違った光の世界が広がります。会場はクリスマスの雰囲気を漂わせ、一人一人、受持ち看護師からのメッセージカード、サンタクロースからのクリスマスプレゼントをいただき、喜んですぐに開けて見ている患者さんもいました。また、サンタクロースと記念撮影を行い、楽しくて会場にずっといたいと思ってしまう程でした。残念ながら会場に行くことができなかった患者さんの所にも、トナカイに案内されたサンタクロースがやって来てくれました。ささやかではありましたが、会場と同じように、カード、プレゼントをもらい記念撮影をして、クリスマスの雰囲気を味わうことがで

きました。栄養管理室からは、お家の形のケーキを用意していただき、患者さんも職員も可愛さに笑顔になりました。プレゼントは、今年も、家族会「岩手あすなろの会」からのご協力をいただき感謝しております。各病棟、患者さんに喜んでもらえるよう、ご家族、職員一丸となって取り組んだ行事となりました。



### 新職員紹介

- ①出身地 ②好きなこと ③何か一言

新たに岩手病院に異動・採用された職員です。  
どうぞよろしくお願ひします。

### 令和5年10月1日 採用



にしまき まり  
**西巻 真理**  
事務助手

- ①一関市赤荻
- ②北欧インテリア・雑貨
- ③不慣れなことも多いですが、一日も早く仕事を覚えるよう頑張ります。

### 令和5年 人事異動

(9月2日～1月1日)

【令和5年9月30日付】 辞職

鈴木 春奈 保育士 (非常勤)

【令和5年10月1日付】 採用

西巻 真理 事務助手 (非常勤)

【令和5年10月31日付】 辞職

伊藤 未希 看護師

【令和5年11月30日付】 辞職

小原 健一 事務助手 (非常勤)

【令和5年12月31日付】 辞職

多田 航洋 看護師

